



災害遺構カード



※カード枚数には限りがあります。
 また、アンケートにご協力いただきます。



あいぽーとからの お知らせ

北上川学習交流館あいぽーとでは、『**岩手宮城内陸地震から10年**』の節目として、震災の記憶を風化させないため、防災意識を高めて頂くために震災直後の写真や災害復旧活動の状況写真などのパネル展示をしています。

また、岩手県南広域振興局土木部一関土木センター発行の『**災害遺構カード**』を来館した方にプレゼントしています。

■発生内容

- 地震発生日：平成20年6月14日
- 震源地：岩手県内陸南部
- 震源の深さ：8km
- 規模：マグニチュード7.2
- 震度6強：岩手県奥州市、宮城県栗原市ほか



現在のまつるべ大橋周辺

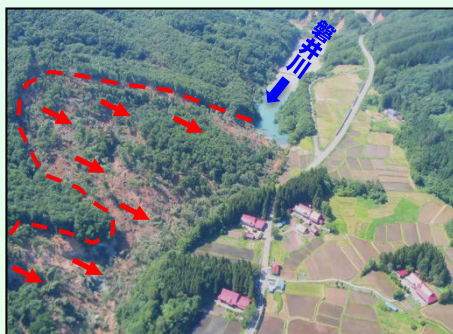
◆まつるべ大橋◆

「旧まつるべ大橋」は、地すべりによって橋と山全体が一関側へ約11mも移動し、橋そのものも壊れてしまいました。周辺の道路にも大きな被害が発生しました。

地震の大きさをこれからも伝えて行くために、壊れた橋の一部はそのままの形で保存されています。

◆市野々原地区被災直後から復旧への流れ◆

市野々原地区の磐井川付近で大きな地すべりが発生し、一部に大きな天然ダムが形成しました。水位が上昇すると、天然ダムが決壊し下流地域に土砂や川の水があふれ大きな被害が出る危険性が高かったため、排水ポンプ車の設置と水を排水させるための水路工事が同時に行われました。



被災直後の状況



仮排水路掘削状況



河道付替完了

◆編集後記◆ 岩手宮城内陸地震後に初めてその地域を通った際、変わり果てた景色に衝撃を受けたのを覚えています。あれから10年が経ちました。過去の震災の記憶を風化させず、今後の防災に繋がりたいですね。(や)



胸に刻もう

『カスリン・アイオン台風70年』

～風化させない歴史とつなげる未来～